

筑波学院大学の教学 IR について

<概要>

本学では教学部の下授業運営センターを設置し、授業運営センターにて教学 IR の収集及び分析に関する事項を担当しています。（「筑波学院大学組織の分掌業務等に関する規程」第 2 条 2 項及び 3 項により）。

IR(Institutional Research)とは、大学について様々な情報の収集を実施し、整理・分析する活動のことを言います。教学 IR により収集されたデータや分析結果は学内にて共有され、大学の教育課程の適切性の検証や教育改善に活かされています。

<主な活動事例>

①「卒業生アンケート」の実施、分析：

卒業生に対して大学教育への満足度および学修状況に関する項目について調査、分析を行い、学内にて結果の共有、教学改善の検討を行っている。

②「授業改善アンケート」の実施、分析：

前期、後期において学生に受講科目についての授業評価アンケートを実施。調査、分析を行い、学内にて結果の共有、教学改善の検討を行っている。

③「学生生活アンケート」の実施、教育関係項目の分析：

在学生に対して学生生活全般に関するアンケートを実施し、教育関係の項目（予習・復習時間やシラバスの活用実態）について分析を行い、学内にて結果の共有、教学改善の検討を行っている。

④専門科目群の成績評価分布の分析

2 年次から履修される専門科目群の 4 専攻（2021 年入学者までは 5 コース）で開講された授業において、成績分布や素点評価の分布について分析を行っている。

これにより各専攻における成績評価の平準化の実施状況を検証し、教学改善の検討を行っている。

<情報公開場所>

調査結果、分析等公表場所（情報公開）：<https://www.tsukuba-g.ac.jp/organization/public/>